

自治体産品開発・販売による魅力発信事業

西本 久雄 議員 事業内容と含まれる費用は？

スイーツ甲子園等を行う事業費として委託料が計上されています。具体的にはどのような内容で、こういった費用が含まれているのか伺います。

小松 復興企画課長 全国規模のイベント、店頭に出せる商品を開発

令和5年度、大熊町、富岡町、楢葉町が事業主体となり実施しているイベントです。継続事業として広野町も加えた4町による事業としてJヴィレッジでの開催を予定しています。

高校生が地域の特産品を使い、地域を元気づけるようなスイーツを開発するといったもので、広野町としては、みかんやバナナ等を使って新たな特産品を開発していただくという取組です。

全国放送されるような大きなイベントであり、全国の高校生から参加するチームを募集します。また、高校生の技術では店頭に出すところまでいけないため、大会を運営する審査員、洋菓子の研究者やお菓子の専門事業者がアドバイスを行うような内容になっています。

令和5年度3月補正予算

会計名	補正額	補正後の予算額	主な内容（一般会計）	
一般会計	▲1億9663万円	56億 717万円		
特別会計	国民健康保険	▲645万円	8億2592万円	○庁舎管理費 役場庁舎エレベーターの更新見送り等による4775万円減
	土地開発事業	▲625万円	9118万円	
	公共下水道事業	▲1274万円	1億9463万円	○移住定住促進対策費 一部事業見送り、請負差額による2億4356万円減
	農業集落排水事業	▲80万円	3617万円	
	介護保険	▲6116万円	7億6653万円	○防災対策費 自動通話録音機等購入費補助金の申請件数過少等による439万円減
	後期高齢者医療	▲55万円	4170万円	
合計	▲2億8458万円	75億6330万円		

移住・定住推進対策費

遠藤 浩 議員 委託料減の理由は？

移住定住推進支援業務委託料を5500万円の減としています。事業が実施できなかったのか伺います。

小松 復興企画課長 業務委託を見送り

当初、移住定住推進に係る企画立案について、職員に経験がなく、専門事業者に委託してきましたが、事業3年目を迎え、復興庁との協議において、職員自ら実施するのが望ましいということになり、企画立案業務の委託については見送りました。



移住・定住体験ツアー（教育の丘）

議案審議 質疑

令和6年度当初予算

保育料無償化事業

西内 玄太 議員 無償化の認識は？

歳入として保育認定負担金、一時保育利用者負担金、教育認定預かり保育料、保育認定延長保育料が計上されていますが、こちらを除く一般的な保育料については、第何子かや所得を問わず完全に無償化が図られるという認識でよろしいか伺います。

坂本 こども家庭課長 広野町民の基本的な保育料を無償化

広野こども園の保育料無償化ではなく、広野町民（0歳～2歳）の保育料無償化です。保育認定負担金については、町外からの広域受託保育に係る保育料です。

一時保育、教育認定預かり保育、延長保育については、広野町民、他市町村民間問わず無償化ではありません。本事業は0歳～2歳の基本的な保育料の無償化となっています。

デマンド交通・タクシー利用料金助成事業

渡邊 忠義 議員 予算の根拠は？

町民から「デマンド交通は利用者がいつも同じ」、「タクシー利用料金をもっと助成してほしい」との声を聞きます。予算について伺います。

飯島 総務課長 利用者の声を反映、広野町に合った地域公共交通を検証

令和5年の7月から地域公共交通活性化事業「NOSSE（のっせ）」として町民バスとデマンド交通のハイブリット方式で運行してきました。「タクシー利用料金助成事業の方が使いやすい」など色々な声があり、令和6年度において、NOSSE（のっせ）に加えて過去に実施していたタクシー利用料金助成事業をプラスして、利用の状況を鑑みながら広野町に合った地域公共交通を検証していきます。

防災マップ制作業務委託

高木 光雄 議員 新しく作成するのか？

防災マップは昨年度も予算化されていましたが、新しく作成するのか伺います。

遠藤 環境防災課長 別河川の防災マップを作成

令和5年度は浅見川の河川ハザードマップを作成しており、今年度末に完成して町民に配布をする予定です。

令和6年度、令和7年度の2カ年で北迫川と折木川の河川ハザードマップの作成を計画しており、令和6年度は両河川の地形測量等の業務を行う予算を計上しています。



水位計（浅見川小松橋）